# 奈良市議会だより

No.168
令和8年11月1日発行

9月定例会

〒630-8580　奈良市二条大路南一丁目一番一号　奈良市議会事務局　☎(0742)34-4734
■発行／奈良市議会　■編集／奈良市議会広報広聴委員会

環境清美工場
## 新たに大きな損傷、修繕予算膨張懸念

近鉄大和西大寺駅踏切
## 開かずの踏切対策、市民に見える形で

新クリーンセンター
## 候補地選定調査報告受け議論

大和中央道
## 整備の必要性など議論深化

令和７年度決算不認定
## 市長等に対する問責決議案可決

中学校部活動の地域展開
## 生徒、保護者の混乱招く

「奈良のシカ」が過去最多の1687頭
## 生息範囲と田畑被害エリア拡大 共存議論

奈良公園に生息する天然記念物の「奈良のシカ」は令和８年、前年より222頭増えて計1687頭になり、２年連続で過去最多を記録しました。奈良公園内の鹿が過密化し、住宅街への出没や田畑への被害など、生息範囲と被害エリアが拡大しています。令和８年９月定例会では、これら「鹿害」を食い止め、鹿と共存していく未来について議論を重ねました。

（表紙写真：奈良女子大学付近）

議案や質問内容等は市議会ホームページで更に詳しくご覧いただけます。次回の議会だより第169号は令和9年2月1日発行予定です。

奈良市議会　議会だより

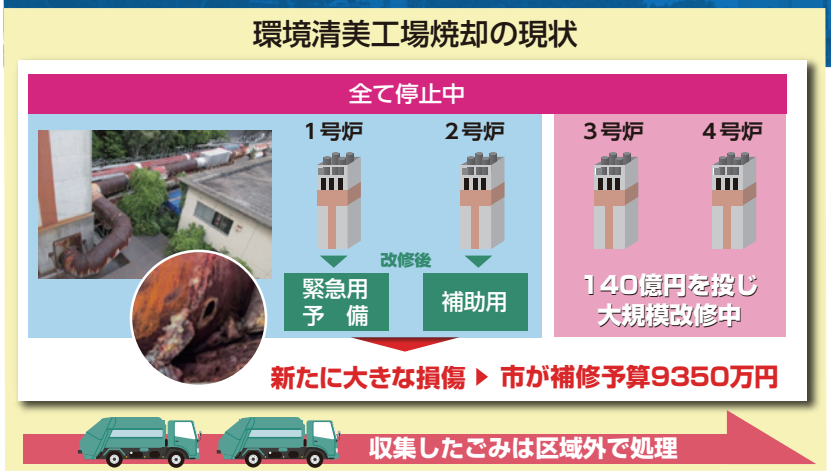
# 環境清美工場

## 1号炉、2号炉で新たな損傷
## 今後の修繕予算膨張を懸念

老朽化が問題になっている市のごみ焼却場「環境清美工場」は現在、4炉全てを停止し、140億円を投じて3号炉と4号炉を中心に大規模な改修が進められており、収集したごみは区域外（他市町村や民間の処理施設等）で処理されています。

改修後に緊急用の予備として使用する1号炉と補助用の2号炉の煙道に複数の亀裂や欠損が見つかり、令和8年9月定例会で市は、補修するための補正予算案9350万円を計上し、議会へ提出しました。

議会では、今回新たに見つかった損傷を修繕するための予算措置に迫られることや、調査を行っていない箇所で今後も不具合が発見され多額の費用が必要になることなど、今後の懸念点を指摘し、議論しました。




## 新クリーンセンター
## 議論が本格化

### 候補地選定の調査結果

市が建設を計画しているクリーンセンター（新しいごみ焼却場）の候補地選定に向けた調査結果について市から報告があり、令和8年9月定例会では大和田町（2地点）と、北之庄町それぞれの特性やメリット、デメリットを比較し、問題点などについての議論がありました。

議会では、道路状況や周辺環境、発掘調査や建設工事期間の長さ、災害対策のほか、総事業費や稼働後のランニングコストなど多岐にわたって2候補地3地点を比較し、議論を整理しました。

またクリーンセンターを契機とした今後のまちづくりの方向性についても市の考えを問い、市は「地域の皆様のご意見もしっかりと伺いながら、具体的なまちづくりの方向性を整理していきたい」と考えを明らかにしました。

今後、議論が本格化し、最終候補地が決定していく見通しです。

**候補地選定調査報告の概要**

| | | 大和田町 北側（平地部） | 大和田町 南側（山地部） | 北之庄町 |
|---|---|---|---|---|
| 敷地面積 | | 約 4.8ha | 約 4.0ha | 約 4.9ha |
| 概算事業費 | 整備費 | 約 528 億円 | 約 532 億円 | 約 515 億円 |
| 概算事業費 | 20年間の維持管理、収集運搬に係る費用 | 約 582 億円 | 約 582 億円 | 約 579 億円 |
| 概算事業費 | 合計 | 約 1110 億円 | 約 1114 億円 | 約 1094 億円 |
| 液状化対策 | | 必要になる可能性あり | | 必要 |
| 交通 | | 朝のピーク時間帯に渋滞が発生 | | |
| | | クリーンセンターへの代替路がなく、災害時や事故などで通行止めが発生するとアクセスが困難になるおそれがある | | 既存のアクセス道路やインフラを活かしやすい |
| 周辺環境・工事期間長期化リスク | | 候補地までの道路が整備されていないため、施設建設はアクセス道路整備後に着手。整備にはおおむね1年以上必要で、用地交渉などにより工事期間が長期化するおそれがある | | 平城京南方遺跡に該当する文化財埋蔵地。遺跡への影響が及ぶ範囲で事前に発掘調査が必要になるが、用地取得と並行して順次調査を進めることで事業スケジュールは調整が可能 |
| | | 建設箇所周辺にオオタカの営巣を確認。オオタカが整備予定地近くに営巣木を移動した場合、繁殖環境保全のため毎年2月～7月に工期中断リスクがあり、2年程度の工期遅延リスクがある | | 平地の水田を中心とした耕作地。地蔵院川に近いことから、希少な水生生物が生息している可能性もあり、発見された場合は環境保全措置として移殖や地蔵院川への濁水抑制等が想定されるが工期遅延リスクは小さい |

## 令和7年度決算不認定　市長等に対する問責決議案を可決

令和8年9月定例会では、市の令和7年度の決算を審査しました。一般会計では、福祉や教育で一部の施策が予算に十分に反映されていない、また、議会で審査を受けていない新規事業の実施設計を執行するため、予算の流用という手法を用いて委託事業を執行するなどの問題点が明らかになりました。一方、認定すべきとした意見もありましたが、議会として賛成少数をもって不認定としました。

市議会のチェックを通さない予算の流用による事業の執行は、市民に対して行政運営の透明性を欠く恐れがあることから、市に対して是正を強く求めました。

また、このことを重く受け止め、市長、副市長に対する問責決議案が提出され、市議会は賛成多数でこれを可決しました。

# 山積する市政課題 論点整理



## 近鉄大和西大寺駅
## 「開かずの踏切」解消へ議論

時間帯によっては1時間のうち50分以上閉まることもある、近鉄大和西大寺駅周辺の「開かずの踏切」による駅周辺の交通渋滞は市の長年の懸案事項の一つになっていますが、解消には至っていません。

市と県、近鉄の3者は、国の法律（※）に基づき令和5年に協議会を立ち上げ、鉄道の高架化などを検討してきました。当初の事業費は約1000億円と試算されていましたが、物価高騰の現在は1500億円を上回るとも考えられています。

この事業費の負担割合や工事の必要性などをめぐって市長と県知事の意見に隔たりがあり、令和7年末に2年ぶりに事務方の協議が再開されるまで停滞。一方でトップ協議は未だ行われていません。

市議会ではこの状況について打開を求める声が相次ぎ、市長がトップとして県知事との協議の場に立ち、問題点や方向性のすり合わせなど、市民、県民に見える形で協議を加速化していくよう求める声がありました。

## 県市で見解異なる大和中央道整備
## 「大和西大寺駅高架化と切り離し議論の深化を」

大和中央道は、奈良市の南北交通軸として、周辺の慢性的な交通渋滞の解消や、救急車や消防車の出動体制をより強化するため、長年にわたって整備が進められています。残す工区は若葉台工区（1・3キロ）になっており、市は240億円を超える総事業費を見込んでいます。

しかし令和8年6月の市の事業認可申請に対して県は「巨額の事業費の資金計画が実現性に乏しく、12年間とする工期も懐疑的」などとして判断を保留しています。また県は、市と県の協議が難航している近鉄大和西大寺駅の高架化を含めて検討する姿勢を示しています。

市議会では、大和中央道の完全開通と近鉄大和西大寺駅の高架化は切り離して県と協議し、大和中央道の整備の必要性や財源、工期の裏付けなど議論の深化を求める声がありました。




## 中学校部活動の地域展開
## 体制構築の不備を追及

市は令和8年度から公立中学校の部活動指導の地域展開を実施しましたが、指導者不足が顕著になっており、教員や市職員がその穴埋めを行っています。この現状について市議会では問題視する声が相次ぎました。

令和8年4月から、生徒達や保護者に混乱が生じていること、指導者不足が未だ解消されていないことなどの指摘があり、市の体制構築の不十分さが露呈しています。市からは、十分な体制を取ることができなかったことを認め、令和9年度に向けて改善するとの答弁がありました。

※踏切道改良促進法

# A.Q. Q.A. そこが知りたい 質疑・一般質問

9月9日・10日・11日の本会議では、30人の議員（うち代表質問7人）が質疑・一般質問を行いました。代表質問は質問・答弁・意見の要旨、個人質問は質問・意見の概要を掲載しています。（発言順）

質疑・一般質問の詳細については、掲載しているQRコードを読み取ることで市議会ホームページの録画中継等で確認することができます。

## 代表質問

### 自由民主党　道端　孝治



**中学校部活動改革における活動時間制限の運用は**

**問**　国のガイドラインにある「平日2時間、休日3時間、週計11時間まで」という制限は、子ども達の可能性や挑戦の機会を狭めている。11時間程度という表現を柔軟に捉え、種目の特性に応じた時間設定や準備、片付けはその時間外とするなど運用の見直しを行うべきと考えるが、市長の見解は。

**市長**　活動時間は、基本的に設定された時間枠の中で、練習内容を精査しながら活動を行っていくという考え方は重要であると考えている。

**6月26日の大雨での内水氾濫被害の再発防止策は**

**問**　今回の被害を教訓とした再発防止策をいつまでに取りまとめ、どのような考え方で今後の予算や事業に反映していくのか。

**市長**　集中豪雨が激甚化、頻発化する中、本市や各地の事例を分析して再発防止に取り組むことが重要である。現在、関係部局で庁内横断的に内水氾濫対策の検討を進めており、取りまとめたものを令和9年度の予算編成の中で事業化していきたい。

### 公明党　九里　雄二



**豪雨による冠水・浸水市内の実態把握と対策を**

**問**　台風やゲリラ豪雨の度に冠水や浸水が起こる箇所に対して、雨水管の大口径化、地下貯留施設の整備、調整池や排水ポンプの敷設などの対策を講じるべきと考えるが、市の対策は。

**市長**　浸水の常襲箇所については、その地域の流域調査、雨水を別ルートに分水する調査のほか、防災・減災対策として、側溝等の改修や水路のかさ上げ、雨水幹線・排水施設の整備改修や水路などの維持管理に取り組んでいる。一方で、雨水管の大口径化には流末となる河川の水位の影響もあり、すぐには対応ができない面もある。

**意見**　大量の雨により下水管や雨水管の排水能力を上回って路面にあふれ出す内水氾濫は、市が責任を持って対処すべき課題である。対症療法だけでなく、頻発する豪雨災害への根本的な対策を中長期のスパンで行い、特に冠水常襲地域には優先的な改善対応を要望する。

〈他の質問項目〉
・大和西大寺駅高架化事業
・ごみ焼却施設建設候補地
・クラブ活動地域展開　他

### 日本維新の会　中川　康



**新クリーンセンター候補地のまちづくり構想は**

**問**　今回の調査で、コスト面では北之庄町が有利であるが、大和田町を最終候補地として選定する理由はあるのか。また、各候補地でのクリーンセンター建設を契機とした今後のまちづくりの構想は。

**市長**　北之庄町が事業費の面で有利なことは重要な情報だが、周辺環境や交通への影響、収集業務の効率性など多様な観点を踏まえ、最終的に判断する必要がある。北之庄町は、隣接する工業地域の産業との連携や農地などへのエネルギー供給を通したまちづくりが考えられる。一方、大和田町は、豊かな自然環境や富雄丸山古墳などの歴史資源、また道の駅との連携を含め、観光・交流・環境学習につながるまちづくりが考えられる。

**意見**　会派としては、北之庄町のほうが建設に関する不安要素が少なく、JR新駅の開業や西九条佐保線の開通予定など、まちづくりのポテンシャルが非常に高いと考えている。候補地を早急に確定させ、建設計画を進めていくべきである。

〈他の質問項目〉
・令和8年熊本地震を踏まえた災害対策、先手の防災
・中学校屋内運動場の非常用発電機設置
・中学校部活動の地域展開
・市長の政治姿勢

### 自民党・無所属の会　榎本　博一



**新クリーンセンター一日も早い建設に向けて**

**問**　新クリーンセンター建設候補地の2町3か所それぞれの建設費用などが記された調査報告書を市長はどのように

受け止めているのか。

**市長**　客観的な調査結果を踏まえ、総合的な観点から論理的かつ合理的な比較検討を進める必要がある。新クリーンセンター建設は、最優先課題としてこれ以上先延ばしせず、議会と共に責任を持って納得のいく最適解を導き出したい。

**問**　大規模な改修工事後の現工場の耐用年数は。また、新クリーンセンターはいつまでに稼働する必要があるのか。

**市長**　候補地決定から詳細な調査や法的な手続き、用地買収などを経て、工事完了までに10年程度を要する。現工場は、約140億円かけて大規模改修を実施しているが、老朽化が進んでおり、10年持つという保証はない。安定的かつ安全なごみ処理体制を確保するため、すぐにでも着手すべき喫緊の課題であると考えている。

〈他の質問項目〉
・決算及び補正予算
・近鉄大和西大寺駅周辺線路の高架化
・大和中央道の完全開通
・中学校部活動の地域移行
・公民館のエアコン改修
・地域こどもの生活支援強化事業

## 日本共産党　山本　直子



### 平和と暮らしの優先を

**問**　平和であってこそ、経済を立て直し、災害や物価高騰の対策に取り組むことができると思うが、軍事の拡大より平和と暮らしを優先することについて市長の考えは。

**市長**　市民が安心して暮らし、地域社会や経済を支えていくことができるのは平和であってこそであると認識している。国の動向を注視し、物価高騰対応、地域経済の立て直し、社会保障の充実などに力を注ぎ、市民の安全・安心と福祉の向上を市政の重要な責務として施策に取り組んでいく。

### 県・市連携した施策の考えは

**問**　子ども医療費完全無償化、学校給食の無償化、高齢者福祉における県・市が連携した施策の考えは。

**市長**　これまでも子育て世帯や高齢者の暮らしを支える取り組みを主体的に推進してきた。県には積極的にリーダーシップを発揮してもらい、市町村と共に発展する奈良県を実現してもらいたい。

〈他の質問項目〉
・令和7年度決算について
・令和9年度予算編成方針
・補正予算について
・新クリーンセンター建設計画について
・いのちのとりで裁判

## 市民ひろば　阪本美知子



### 公平・客観的な候補地決定を

**問**　クリーンセンターの候補地決定に当たり、事業費の差や住民の声をどう位置付けるのか。評価基準に基づいて評価すべきではないか。

**市長**　候補地の調査報告書は重要な客観的データとして位置付けており、周辺環境や交通への影響、更には財政負担や将来的な収集の効率性などの点を踏まえて候補地を評価する必要がある。

### 草木類再資源化の方針は

**問**　市民の協力の結果、多くの落ち葉や枝木類のごみが分別され集まっているが、資源化が進まず処分場に山積している。今後どうするのか。

**市長**　堆肥化事業に加え、新たにバイオマス発電の原料化などを検討している。

〈他の質問項目〉
・視覚障害者の情報格差解消に向けたスマホの購入補助

### 公立園に期待する役割は

**問**　公立園を残すと言いながら、なぜ先に民間移管を進めるのか。公立園の役割は何か。

**市長**　民間移管を中心に幼保再編を進める方針は子ども子育て会議で確認している。また、公立園には、市が直接現場を担い、知見を蓄積する役割があると考えている。

## 未来の会　下村　千恵



### 市として目指すべき組織と風土づくりは

**問**　自律的で持続可能な行政組織が必要であるとの考えに照らして、市長はどのような組織を目指し、職員に何を期待しているのか。

**市長**　市政の方向性や目標を共有した上で、それぞれの職員が自ら考え、判断し、行動できる組織を目指している。

**問**　自ら判断できる風土づくりをどのように促すのか。

**真銅副市長**　立場にかかわらず職員が自ら意見を述べ、自ら判断できる風通しのよい組織風土の醸成に努めたい。

**問**　ボトムアップでの政策立案をどのように促すのか。

**真銅副市長**　現場の気づきを政策・事業に反映する行動を評価する一方、失敗は寛容に受け止め、挑戦が奨励される風土づくりに努めていく。


よりよい組織を目指す市役所

〈他の質問項目〉
・公民館の普遍的な価値をどのように残していくのか
・市立園の指導監査について

### 意見募集

議会だよりに対するご意見を募集しています。下記のQRコードからお寄せください。

# 個人質問

## 自由民主党　植村　佳史



○部活動地域展開の早期全面実施理由
○鹿害対策として餌やり禁止と保護地区区分Cの見直し
○なぜ市はサニーグリーンフェスを共催し、施設使用料を減免したのか

## 公明党　真鍋　弘美



○犬猫殺処分ゼロへの保護、譲渡活動
○奈良市ゼロカーボン戦略アクションプランについて
○下水道管路情報のデジタル化と広域連携について

## 日本維新の会　大西　淳文



○市民規格葬儀を導入すべきでは
○感震ブレーカーの普及啓発及び設置支援をすべきでは
○ポイ捨て防止条例に飼い犬のふんの放置禁止を追加すべきでは

## 自民党・無所属の会　塚本　勝



○中央体育館の老朽化及び国スポを見据えたインフラ整備・改修について
○市内小・中学校体育館の空調設備設置について（設置後の一般利用のルールや利用料金）

## 日本共産党　山口　裕司



○自治体情報システム標準化について
○子ども医療費の無償化について
○新生児聴覚検査事業など聴覚障害児への支援について
○高の原駅前広場再整備について

## 市民ひろば　樋口清二郎



○物価変動に対応した指定管理料の物価スライド制の導入について
○職員の職場環境の改善について
○ジャンボタニシ対策への支援について
○学校プール施設の修繕について

## 未来の会　岡本　誠至



○市民に有益な指定管理の在り方
○ロートフィールド奈良の活用方法
○部活動の指導者確保と活動費用の担保について
○さくら連絡網の改善について

## 無所属　松石　聖一



○地下食堂の再開と庁舎前芝生をお弁当を食べるためのスペースにしては
○（仮称）南城戸町街区公園の供用開始に合わせた防災イベントの実施
○市営納骨堂の整備について

## 自由民主党　太田　晃司



○交通、福祉、救急の課題から見る地域の移動手段の確保と交通空白地区への対応
○通学路等における危険箇所の把握と新たな交通安全技術を含めた対応

## 公明党　田畑日佐恵



○産後ケア事業について
○中筋自転車駐車場の廃止について
○針テラスの再整備事業について
○学校給食の安全、安定的な提供体制について

## 日本維新の会　柳田　昌孝



○生ごみ分別モデル事業のモデル地区住民からの反応とモデル地区の拡大に向けた体制の整備について
○新クリーンセンター候補地の調査結果について

## 自民党・無所属の会　鍵田美智子



○遺贈により寄附された市民の遺志を尊重し、地域の中で循環させる仕組みを検討する考えは
○地域福祉の役割を担う社協の財政基盤の現状と体制の強化について

## 日本共産党　白川健太郎



○市街化調整区域において離農等により土地の荒廃が進む懸念があるが、今後の展望について
○近鉄西ノ京駅周辺整備の進ちょくや今後の計画について

## 市民ひろば　柿本　元気



○市として私立幼保連携型認定こども園に対する認可・指導監督責任を果たすために、保護者の相談やご意見を直接受け付ける仕組みづくりが必要ではないか

## 未来の会　階戸　幸一



○生活困窮者・若者の支援と地域活動を結ぶ地域共生の仕組みについて
○行政、社協等の連携で地域の担い手不足と生活困窮者・若者の社会参加をつなぐプラットフォームの構築

## 無所属　松下　幸治



○消防局における圧縮空気泡消火装置の導入状況と今後の導入計画について
○東京消防庁などが実用化を目指している放水型ドローンについて

## 公明党　宮池　明



○鼓阪小の統合に関して、鼓阪地域活性化とソーシャル・キャピタルの維持・形成及び社会教育と地域福祉の機能的な連携強化に対する市と教育委員会の行政姿勢について

## 日本維新の会　佐野　和則



○市街地の鹿害調査における自治会アンケートの実施と市の地図情報公開サイトの活用について
○美化促進重点区域内のコンビニへのごみ箱と喫煙所の設置について

## 自民党・無所属の会　横井　雄一



○指定避難所、福祉避難所が災害時に実効性を発揮できるのか
○都市型水害に備えて、都市機能の脆弱性の見える化を
○図書館の図書受け取りロッカー増枠

## 無所属　尾﨑　暢子



○市立奈良病院における入院患者の家族等への面会制限の緩和について
○新型コロナワクチンの副反応疑い報告に関する情報開示と今後の接種事業の方向性について

## 日本維新の会　北邨　翔平



○中学校クラブ活動合同チームの交通費負担について
○待機児童ゼロを目指す取り組みについて

## 無所属　へずまりゅう



○水道水源保護条例について
○震災時の対応について

## 日本維新の会　木下　修平



○なら100年会館の施設整備について、正面入口前の階段、その他のタイルの剥がれ等の現状と危険性及び今後の対応

## 議案等の議決結果とその賛否

今号の議案等の議決結果とその賛否については、紙面の都合上掲載を省略しています。下記QRコードからご覧いただけます。

## 予算決算委員会

この定例会では、人事案件を除く令和7年度一般会計歳入歳出決算等の35件を予算決算委員会に付託しました。

委員会は9月11日に資料を要求し、16日・17日・18日に5つの分科会で審査を行い、28日に各分科会委員長の報告を受けた後、総括質疑を行いました。

採決の結果、7年度一般会計決算については不認定とすべきものと決しました。

外34件については、原案どおり認定、可決または同意すべきものと決しました。

各分科会での主な質疑項目、意見は次のとおりです。

ここでは、質疑のあった項目、意見のみ記載します。詳しくは市議会ホームページの録画中継をご確認ください。

### ○総務分科会

- 財政力指数が低減傾向にある状況への認識
- 万博を通じて得られた成果や新たなつながり
- 税外債権管理経費の執行残が多額となった理由
- 職員ストレスチェックの事業内容とその有効性
- 企業版ふるさと納税寄付募集委託の成果と今後の展開
- 財源が地域振興基金で特別交付税対象となる事業
- 財政調整基金の取り崩しにおける判断基準の明文化
- 生成ＡＩを含む情報化推進事業経費の執行状況
- 正規職員の削減と会計年度任用職員の増加
- 心のふるさと応援寄附促進経費の不用額と現状
- 産地学官連携事業の経費の内訳と事業内容
- 避難所運営の委任拡大に向けた支援の再構築
- 予定価格の算定方法見直し

### ○観光文教分科会

- 図書受け取りロッカーの効果検証と図書館の在り方
- 消費生活センターの相談内容の実態と被害防止策
- 小・中学校のエアコン設置に係る運営管理経費
- 障害者雇用推進経費
- 企業誘致推進の成果・課題と目指す産業構造
- 旧水間小学校における文化財の収蔵状況
- 文化財が増え続けることによる将来的な課題
- （仮称）文化財センター運営に向けた人材確保
- アライグマの捕獲実績と今後の事業展開
- 給食食材調達経費の財源内訳と無償化の実施状況
- サマルカンド交流事業基金の積み立て不足による影響
- 春日中学校夜間学級を含めた空調機器更新
- 校内サポートルームの開室状況と支援員の勤務時間
- 市公式アプリの登録実績と観光促進効果
- 有害獣防除施設設置事業補助金の補助率と実績
- 鹿苑整備事業負担金の繰越額と不用額

### ○厚生消防分科会

- 東部山間地域の高齢者の医療機関へのアクセス支援
- 地域介護予防活動補助事業
- 養護老人ホームの支弁額の今後の見直し
- 軽費老人ホームのサービス提供費の今後の見直し
- 消防車両の更新理由と既存車両の処分・計画的更新
- 国保料滞納における外国人被保険者数と市の取り組み
- 京西保育園・六条幼稚園統合の経緯と民間移管の理由
- 国保料滞納による差し押さえの増加と被保険者の負担
- 医療扶助費増加の要因分析と世帯主国籍のデータ整備
- 不妊治療助成の成果把握と制度の周知
- 休日夜間応急診療所の委託料内訳と随意契約の合理性
- 応急診療所人員配置見直し
- たばこ対策促進事業の不用額とＣＯＰＤ啓発への影響
- 新型コロナワクチン接種経費で不用額が生じた理由

### ○市民環境分科会

- トップスポーツシティ奈良の支援内容と使用料免除額
- 松原市との協議会解散の経緯と地域住民への情報提供
- 清美事業地取得の進ちょくと南部埋立処分地の経費
- 右京コミュニティスポーツ会館の経費流用と財政統制
- 鴻ノ池球場スコアボード改修その他工事の内容
- 人権文化センター等の維持補修予算の執行残
- 生ごみ処理機器購入費助成件数の推移
- 清美工場煙道の異常等は事前に想定できなかったのか
- 多文化共生事業の今後
- ボランティアセンターの運営管理経費
- 自衛官募集広報の効果検証
- 市民協働によるナンキンハゼ対策と周知・啓発
- 男女共同参画施策の予算決算差額と生理用品配布拡大
- 文化振興施設整備事業費の予算額と決算額の差

### ○建設企業分科会

- 耐震改修促進経費の不用額と補助金利用が少ない要因
- 浸水対策事業の不用額
- 浸水対策工事箇所の選定基準と今後の取り組み
- 市街地地域の地籍調査の状況と今後のスケジュール
- 建築物土砂災害対策改修促進経費が未執行の理由
- 鶴舞橋耐震補強工事の工法変更と安全対策
- ＪＲ平城山駅バリアフリー化の執行状況と進ちょく
- 橋梁定期点検の実施状況
- 令和7年度に実施した公園遊具の安全点検
- 電線共同溝整備工事の内容
- 河川災害復旧工事の内容と具体的な対策箇所
- 道路の雨水管の状況把握と道路排水施設改良事業
- 上下水道の建設改良で執行できなかった工事と理由



植物油インキで印刷しています。　印刷：株式会社　明新社